

## 2024年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年12月14日

東

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所  
 コード番号 2978 URL <https://tsukuruba.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 村上浩輝  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 門間賢都 (TEL) 03-4400-2946  
 四半期報告書提出予定日 2023年12月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年7月期第1四半期の連結業績(2023年8月1日~2023年10月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第1四半期	1,152	—	49	—	44	—	45	—
2023年7月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年7月期第1四半期 44百万円(—%) 2023年7月期第1四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第1四半期	3.83	3.78
2023年7月期第1四半期	—	—

(注) 2024年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第1四半期	3,105	1,587	47.6
2023年7月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年7月期第1四半期 1,479百万円 2023年7月期 ー百万円

(注) 2024年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期の数値については記載していません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年7月期	—	—	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

## 3. 2024年7月期の連結業績予想(2023年8月1日~2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	—	150	—	130	—	175	—	15.46

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 2024年7月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) 株式会社ツクルボックス、 除外 1社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年7月期1Q	11,663,600株	2023年7月期	11,569,500株
② 期末自己株式数	2024年7月期1Q	335,709株	2023年7月期	335,709株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年7月期1Q	11,298,154株	2023年7月期1Q	11,117,703株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用等にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2023年12月14日(木)に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で利用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社のウェブサイトにも掲載しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	7,095.90	7,095.90
2024年7月期	—				
2024年7月期(予想)		—	—	10,000.00	10,000.00

(注) 当社は2022年11月15日を払込期日として、A種種類株式を700株発行しており、2023年7月期の年間配当は1株当たり10,000円を日割り換算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間においては、個人消費を中心として景気が緩やかに回復しました。景気の先行きとしては、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復の継続が期待されます。他方、世界的な金融引き締めや中国経済の先行き懸念など、海外経済の下振れが景気を下押しするリスクもあり、物価上昇、中東情勢や金融資本市場の変動などと併せて注視していく必要があります。

当社グループがターゲットとする中古マンション市場においては、景気の緩やかな回復も後押しし、2023年10月の首都圏中古マンションの成約件数は3,287件（前年同月比7.0%増）と、2023年6月以降5カ月連続で前年同月を上回りました。同月の成約㎡単価は74.55万円（同7.4%増）と42カ月連続、成約価格は4,765万円（同8.4%増）と41カ月連続でそれぞれ前年同月を上回って推移しています。また、首都圏中古マンションの在庫件数は新型コロナウイルス感染症の影響で底打ちした2021年6月（33,641件）以降復調傾向にあり、2023年10月は46,312件と、21カ月連続で前年同月を上回っています。

このような経済環境のもと、当社グループは、主力事業であるcowcamo（カウカモ）事業において、営業活動やマーケティング活動などにおける生産性向上に最注力し、サービス改善や組織体制の強化を通じた事業規模の拡大を推進してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,152,517千円、営業利益は49,139千円、経常利益は44,471千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は45,080千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

#### ① cowcamo（カウカモ）事業

当セグメントにおいては、主に中古・リノベーション住宅のオンライン流通プラットフォームcowcamoの運営を通じて、中古・リノベーション住宅の仲介を行っております。当事業に係る外部環境は、新築マンション価格の高止まりを受けた中古マンション流通の拡大及びリノベーションに対する顧客認知の高まりにより、継続的な拡大基調にあります。

このような環境のもと、事業のさらなる成長に向け、プロダクトおよびサービスの改善やデジタルマーケティングを中心とした広告活動、物件案内を行う営業人員の採用・教育、業務システムの開発などに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,065,565千円、セグメント利益は235,622千円となりました。

#### ② 不動産企画デザイン事業

当セグメントにおいては、主にオフィス設計を中心とした設計・空間プロデュースの受託事業及びコワーキングスペース・ワークプレイスレンタルサービスの運営事業から構成されております。当事業に係る外部環境は、働き方の多様化に伴い、都心部におけるオフィス移転、分散、縮小の動きが見られました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は86,951千円、セグメント利益は8,296千円となりました。

なお、当社は、2023年9月14日開催の取締役会において、2023年11月1日付で、不動産企画デザイン事業を会社分割（簡易新設分割）により新設会社に承継させたいと、新設会社の株式の全てを当社の共同創業者である中村真広氏に譲渡することを決議しております。つきまして、第2四半期連結累計期間以降は当セグメントにおける売上および利益の計上は見込んでおりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,105,200千円となりました。

流動資産は2,774,483千円となり、その主な内訳は、現金及び預金1,626,255千円、売掛金及び契約資産50,657

千円、販売用不動産989,822千円です。

固定資産は330,716千円となり、その内訳は、有形固定資産167,592千円、投資その他の資産163,124千円です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,517,751千円となりました。

流動負債は844,823千円となり、その主な内訳は、短期借入金207,500千円、1年内償還予定の社債110,000千円、1年内返済予定の長期借入金275,302千円です。

固定負債は672,928千円となり、その主な内訳は、社債104,000千円、長期借入金559,139千円です。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,587,448千円となりました。その主な内訳は、資本金53,755千円、資本剰余金1,604,450千円、利益剰余金△113,513千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が保有する投資有価証券の一部売却により、2024年7月期第2四半期において特別利益を計上する見込みとなりました。これにより、2023年9月14日に公表した2024年7月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2023年12月14日公表の「特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,626,255
売掛金及び契約資産	50,657
販売用不動産	989,822
その他	107,747
流動資産合計	2,774,483
固定資産	
有形固定資産	167,592
投資その他の資産	163,124
固定資産合計	330,716
資産合計	3,105,200
<b>負債の部</b>	
流動負債	
短期借入金	207,500
1年内償還予定の社債	110,000
1年内返済予定の長期借入金	275,302
未払法人税等	1,287
賞与引当金	24,312
役員賞与引当金	718
その他	225,702
流動負債合計	844,823
固定負債	
社債	104,000
長期借入金	559,139
その他	9,789
固定負債合計	672,928
負債合計	1,517,751
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	53,755
資本剰余金	1,604,450
利益剰余金	△113,513
自己株式	△62,516
株主資本合計	1,482,175
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△2,736
その他の包括利益累計額合計	△2,736
新株予約権	108,008
純資産合計	1,587,448
負債純資産合計	3,105,200

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2023年8月1日 至2023年10月31日)
売上高	1,152,517
売上原価	466,012
売上総利益	686,505
販売費及び一般管理費	637,365
営業利益	49,139
営業外収益	
受取利息	19
受取手数料	479
その他	87
営業外収益合計	586
営業外費用	
支払利息	2,943
社債利息	167
株式交付費	700
支払手数料	1,443
営業外費用合計	5,254
経常利益	44,471
特別利益	
新株予約権戻入益	1,366
固定資産売却益	532
特別利益合計	1,899
税金等調整前四半期純利益	46,370
法人税、住民税及び事業税	1,290
法人税等合計	1,290
四半期純利益	45,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,080



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	45,080
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△92
その他の包括利益合計	△92
四半期包括利益	44,987
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	44,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は次のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 1社

連結子会社の名称 株式会社ツクルバボックス

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の四半期決算日は、四半期連結決算日と一致しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイン 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,065,565	82,478	1,148,044	—	1,148,044
その他の収益	—	4,473	4,473	—	4,473
外部顧客への売上高	1,065,565	86,951	1,152,517	—	1,152,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,065,565	86,951	1,152,517	—	1,152,517
セグメント利益	235,622	8,296	243,919	△194,780	49,139

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. その他の収益は、「リース会計に関する会計基準」の範囲に含まれる賃貸料収入等であります。